



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

日本共産党と社民党が候補者一本化

東京 20 区宮本徹氏(日本共産党)、21 区小糸健介氏(社民党)



10月4日、衆議院東京21区の田川豊氏、小糸健介(こいとけんすけ)氏、憲法違反の安保法制廃止、立憲主義の回復を求める東京21区市民連合連絡会、日本共産党、社民党は、記者会見を行い、候補者を小糸健介氏に一本化、日本共産党の田川豊氏は立候補を取りやめると発表しました。

日本共産党21区選対責任者の中野昭人氏は「この選挙戦の構図は、『自公とその補完勢力』対『市民と野党の共闘』。日本共産党はこれまで蓄積してきた市民と野党の共闘を前に進めるため、社民党と11都道府

県20選挙区で候補者を一本化することで合意した。この21区では、小糸健介さんに一本化する。田川豊氏を先頭に、市民と野党の共闘の勝利めざして全力を尽くす」と述べました。

田川豊氏は「安倍政権の暴走をストップさせ、憲法を守り、個人の尊厳を守る政治の実現のために、候補者を一本化できたことは、ひとえに、市民のみなさんのねばり強い運動の成果だと、感激しております。

候補者以上にがんばり、小糸健介さんの勝利と、共産党をはじめ立憲主義にもとづく野党の躍進のために、奮闘する」と決意を述べました。

小糸健介氏は「大好きな子どもたちの未来を守りたい。その未来とは、一人一人がお互いを認めあい、助け合うという豊かな価値観にあふれる社会。『誰かに決められる政治から、誰もが決められる政治に』を」と決意を語りました。

小糸健介氏の略歴 主夫、牧師、元幼稚園園長、1981年生まれ、35才、熊本県出身、同志社大学神学部卒業、同志社大学大学院中退

物流センターの防火対策について

旭が丘住民協議会が消防署に要望書を提出

10月3日、東芝跡地の巨大物流センター旭が丘住民協議会（以下、旭が丘住民協議会）は、日野消防署へ、東芝跡地の巨大物流センターMFLP日野の防火対策について、要望書を提出しました。

今回の申し入れは、今年2月埼玉県の大倉庫で火災が発生し、13日間にわたって燃え続け、周辺住民に避難勧告が出されるという事態を受けて、MFLP日野の防火対策について万全を期すよう指導することを求めるものです。

この倉庫火災では、延焼防止の防火シャッターが、電気配線が熱で溶け正常に作動しなかった、ものが挟まりシャッターが完

全に閉じなかった、倉庫内に可燃性の危険物が基準以上に保管されていた、窓が少なく、消火活動が難航したなどの問題点が明らかになりました。

日野消防署は、新規建築は必ず検査を行い、消火活動にあたる職員の間でもチェックをしていること、その後も、定期的に事業所の点検をしており、問題があった場合には、改善策が講じられるまで、指導をおこなっていると回答しました。

申し入れには、清水とし子市議、有賀精一市議が同行しました。

要請項目

以下のことが完全に行われるよう指導を求める

- スプリンクラーが完全に作動すること
- 防火シャッターや防火壁が完全に作動するよう、常に障害物を撤去すること
- 可燃性の危険物は常に管理すること
- 窓が少ないが消防隊が突入できるようにすること
- 自衛消防隊を組織すること
- 消火訓練を行うこと
- マニュアルを作成すること

畑だより・・・

大根葉を収穫しました（右端は二十日大根）。

種まきの時、大根葉と、ホウレンソウの種を間違えてしまい、大量に作ってしまいました。

おひたしや漬物にしていただきました。早めに収穫すると、やわらかくておいしいです。

